

◆上映 「サクラ花」 — 桜花最期の特攻 —

◆高座 「出征祝」 林家三平

平和を考える

映画 と落語

一九四五年六月、人間爆弾と

呼ばれた特攻兵器「桜花」と

そのパイロットを運ぶ「一式陸上攻撃機」。

機内で繰り広げられる乗員8人の葛藤と想い…

激戦地の沖縄に向かう彼等の運命は…?

そしてサクラ花出演の落語家・林家三平による

ここでもしか聞けない幻の国策落語がよみがえる！

2024年

入場無料／定員300名(当日先着順)

6月1日 ◆土

【開場】12:30

【開演】13:00 映画上映・
落語・トークショー

◆ 宇佐文化会館 小ホール (大分県宇佐市法鏡寺224 ☎0978-33-3100)

【監督】松村克弥

【出演】大和田健介／林家三平／三山ひろし／渡辺裕之／緒方直人

【主催】空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会 ☎0978-27-8200



林家三平



「神雷部隊のモサ達」(宇佐市教育委員会蔵)

2024年企画展

「戦争の記憶をつなぐ-神雷部隊と宇佐-」

極限の特攻兵器「桜花」を運用する特攻専門部隊「神雷部隊」と宇佐とのかわり!

2024年5月24日金・8月18日日 10時～18時
日曜は17時まで

宇佐市民図書館 2階 渡網ギャラリー (大分県宇佐市上田1017-1 ☎0978-33-4600)

休館日 月曜(月曜が祝日の場合は開館、翌火・水曜休館)、毎月最終木曜

主催 宇佐市教育委員会

観覧
無料

《問合せ先》

宇佐市教育委員会 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室 ☎879-0492 大分県宇佐市上田1030-1 ☎0978-27-8200

平和な日々のなかでも 忘れてはならないことがある

平和を考える 「サクラ花-桜花最期の特攻-」 映画と落語 林家三平 「出征祝」

2024年6月1日 土 13:00～映画上映・落語・トークショー ◆開場 12:30
宇佐文化会館 小ホール 入場無料／定員300名(当日先着順)

監督／松村克弥 出演／大和田健介、林家三平、橋本一郎、三瓶、城之内正明、奥野瑛太、佐久間悠、三山ひろし、渡辺裕之、磯山さやか、キタキマユ、緒方直人 語り／役所広司 脚本／菅之廣、松村克弥、亀かずお
制作／マウンテンゲートプロダクション・映画「サクラ花」製作委員会 ©2015サクラプロジェクト
主催／空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会



2024年
企画展

戦争の記憶をつなぐ-神雷部隊と宇佐

太 平洋戦争末期、日本海軍が生み出した特攻機「桜花」。1.2トンの爆弾に翼を付けた一人乗りの小さな機体は、「一式陸上攻撃機」に搭載され、切り離されたあとは音速に迫る速度で敵艦に体当たりする、生還不能な特攻兵器。

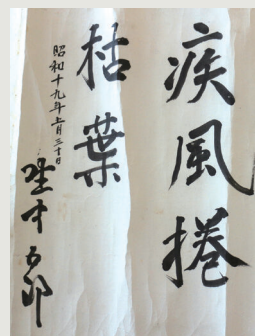
1945年2月、「桜花」を運用する第721海軍航空隊(通称 神雷部隊)の一部が宇佐へ配備された。3月18日、部隊初出撃の準備中に米軍機が宇佐を空襲、「桜花」の出撃は不可能となった。その後宇佐から桜花が出撃することはなかったが、終戦時には機体が残っていた。

終戦までの間、「桜花」による攻撃は10次にわたり、桜花搭乗員55名はじめ神雷部隊の戦死者は824名に及び、戦果は敵艦7隻への損害とされている…。



▲1945年3月18日、
米軍機の空襲を受ける
宇佐飛行場の一式陸上攻撃機
(米軍撮影)

神雷部隊陸攻隊長
野中五郎少佐揮毫▼



主な展示資料

- ◆桜花風防ガラス・照準器・胴体の一部(宇佐市教育委員会蔵)
- ◆神雷部隊司令 岡村基春大佐揮毫 (宇佐市教育委員会蔵)
- ◆神雷部隊桜花隊員 中根久喜中尉 遺書・遺品箱 (宇佐市教育委員会蔵)
- ◆神雷部隊桜花隊員 山田恵太郎一飛曹はがき (宇佐市教育委員会蔵)
- ◆三木忠直「桜花概要」(個人蔵、写真)

アクセス



車

- ◆大分自動車道「宇佐IC」から12分
- ◆JR柳ヶ浦駅から車で10分
- ◆JR宇佐駅から車で15分



バス

- ◆大分空港からノースライナーで宇佐市役所前まで75分
- ◆宇佐駅から大分北部バスで宇佐市役所前まで15分

